

平成23年度 学校経営について

1 実情と取り組む内容

○子どもたちの実情

- ・あいさつ運動に積極的に取り組み、他の子を思いやる心のやさしい子が多い。
- ・縄跳びに個人でまた学級で挑戦しようとする前向きな姿勢が見られる。
- ・みんなの前で考えを述べたりすることにやや消極的なところが見られる。

○本年度取り組む内容

- ・外国語活動に楽しく取り組むことを通して、人との関わりを大切にしながら、自己表現ができる子
- ・自分の良いところを認め、他の人の良さも受け入れることができる子
- ・本物体験活動を通して、自分の生き方について学ぶ力と感動する心が身についている子

2 基本方針

《教育理念》

「志を定めて努力を続け、人の役に立つことを喜びとする人を育てる」

《学校教育目標》

「目標をもって、自分を高めていく子」

- ・「学校は子どものためにある」ことを基本にとらえ、子ども中心の教育にあたり、子どもたちの心に夢と希望を育みます。
- ・かしこく(知)、やさしく(徳)、たくましく(体)の調和のとれた子どもの育成を目指します。
- ・自分も他の人も大切にすることで、家族や地域に誇りをもって生きる子どもを育てます。
- ・学校は学びの場であることを押さえ、教科の力をつけ、人としての生き方を身につけるためにやさしく丁寧に、わかるまで指導します。

《願う児童像》

「夢と希望をもって努力を続け、人との出会いを大切に、自分を高めていく児童」

3 特色ある学校づくり

・本物体験活動

芸術、文化、自然などに、直接「見る、触れる、体験する」ことを通して、豊かな感性と人間力を養う

宿泊活動、米作り、野菜作り、伊佐見の自然を学ぶ等

特に本年度は、「はごろも夢講演」「文化庁の本物の舞台芸術」

・表現能力を培う

外国語活動に楽しく取り組む授業を通して、自分の考えがはっきり言える子を育てる

- ・清水みのる氏の偉業を引き継いでの「光のシンフォニー」「水車小屋コンサート」と詩集「ひかりの子」を制作する

・学校を開く

<外に開く>早く正確な学校からの情報発信、定期的な学校評価

<内に開く>行ってみたいくなる参観会・懇談会

4 保護者の皆さんへのお願い

- ①学校とともに子どもを育てるという教育活動への参画意識をもってください。
- ②TVやゲームの時間を制限するなど、家庭での過ごし方を大切にして、子どもに規律ある生活習慣を身につけさせてください。
- ③家族の一員として、子どもの年齢にあった役割を与え、続けさせてください。